

学校教育計画 (平成28年度～平成31年度)

学校名	県立藤沢工科高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・総合技術科
-----	------------	------------------	-----------

1 学校のミッション

- 全日制専門学科の高校として、産業の動向等に適切に対応し、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に定めるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。  
教育課程については、工業に関する専門教科・科目を中心に、専門性の向上を図る教育に重点を置いて、実際の・体験的学習を重視して産業界等との連携をより一層深めるとともに、共通教科・科目の適切な設置に基づいて編成を行う。
- これまで、「知る、わかる、憶える、できる、教える」といった習得段階を意識した教育実践に取り組んできたが、今後はさらに、人と環境に優しい「ものづくり」の精神を培い、すべての事象を総合的に捉える大きな視野をもった活力ある人材を育成するため、自ら課題を発見し解決する力の育成をめざした不断の授業改善を行う等、教育活動の一層の充実に取り組む。

2 学校教育目標

1 心豊かな人の育成

- 豊かな人間性と望ましい社会性を育み、生徒の「生涯にわたる自分づくり」のための進路指導や生徒支援の充実を図る。
- 「命や人権を守る」「自尊感情を育てる」教育活動を推進するとともに共生社会の実現に向けて支援教育と教育相談体制の充実を図る。

2 創造性豊かな人の育成

- 工業の各分野で活躍する人材育成をめざして、ものづくりに必要な基礎的、基本的な知識や技術を身につけさせるとともに基礎学力の定着と向上を図る。

3 社会に貢献できる人の育成

- 地域との連携を推進することで教育活動を充実させ、他者と関わることで生徒のコミュニケーション能力の向上と、地域に貢献し信頼される学校づくりを進める。

3 計画作成時点での課題 (※データを活用し明確に分かるよう記載する)

- 工業の各専門分野の学習内容を充実させるとともに大学・企業等と連携した学習体制の確立を図る必要がある。また生徒に「学ぶ姿勢」を身につけさせるため、全教科において基礎学力の定着と向上を図る必要がある。
- 工科高校の学習を活かしていない進路先に就く生徒が少なくないことから、入学時からの職業教育の更なる充実を図り、生涯にわたる自分づくりをさせる必要がある。
- 基本的な生活習慣の確立やマナー・ルールに課題のある生徒や、教育相談を必要とする生徒が多くいることから、一人ひとりに応じた指導や支援の充実が必要である。
- 生徒の様々な課題に対応する担任を支援する校内体制を整備する必要がある。
- 地域等との交流事業は充実し期待も増し新たな交流も依頼されている。より多くの生徒が地域交流に参加できるよう組織的かつ計画的な対応を図る必要がある。
- 地域連携を活かし地域防災訓練に参加する等、緊急時の対応を想定した防災に係る体制・教育の改善・充実を図る必要がある。

#### 4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の社会的・職業的に自立する力を育成するための教育課程の編成に取り組む。</li> <li>全教科で生徒の学習意欲を喚起させ、基礎学力を定着させるとともに、思考力・判断力・表現力の向上を図る授業改善を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種検定や国家資格の取得に主体的に取り組めるようにする。</li> <li>授業改善に取り組み、学習意欲を喚起するとともに、指導と評価を一体化する。</li> <li>基礎学力の定着と向上度を数値化し教科指導に役立てる。</li> </ul>
2	生徒指導・ 支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>規範意識を身に付けさせ、社会から期待される主体的な行動力をもった生徒を育成する。</li> <li>生徒一人ひとりに応じた学習支援と教育相談体制を充実させる。</li> <li>生徒会活動を活性化させ、自主的、主体的な部活動を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的習慣や社会性を身につけさせ、目的意識を持った学校生活を確立させる。</li> <li>全職員が支援教育に共通理解をもち、SC、SSWを活用した教育相談を実践する。</li> <li>本校の特長を生かした生徒会活動を支援するとともに、部活動の活性化に取り組む。</li> </ul>
3	進路指導・ 支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>LHRや総合ガイダンスの年間計画を見直し、職業教育・進路指導を充実する。</li> <li>生徒一人ひとりに応じた進路指導体制を充実させるとともに、生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生涯にわたる自分づくり」をさせるため、進路ガイダンスを充実させる。</li> <li>就業体験・現場実習に参加する生徒を増やすとともに、体験報告会でプレゼンテーション能力を高める支援に取り組む。</li> <li>進路のミスマッチを無くすため生徒や保護者との連携を深める。</li> </ul>
4	地域等との 協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>工科高校の特長を活かした小、中学校への学習支援と家庭・地域との連携により、生徒に学びの大切さを理解させるとともに社会性を高める。</li> <li>地域に開かれた学校づくりを進めるとともに、地域に貢献する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が学習姿勢を振り返られるように、小・中学校や地域との連携・交流事業を充実・発展させる。</li> <li>ボランティア活動や地域における防災活動を意識した取り組みを実践する。</li> </ul>
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員が学校運営上の課題に迅速に対応できる体制づくりを行う。</li> <li>地域、保護者から信頼された学校づくりを実践する。</li> <li>生徒の防災意識を高める取組みを実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員一人ひとりが学校目標達成できるよう職場環境を醸成する。</li> <li>教育公務員としての自覚を涵養する不祥事防止研修会を開催する。</li> <li>家庭との綿密な連携をつくるとともに情報発信と収集に努め、信頼された学校づくりを進める。</li> </ul>